

北太平洋漁業資源保存条約について

1. 正式名称

北太平洋における公海の漁業資源の保存及び管理に関する条約(2012 年2月採択)

2. 目的

北太平洋公海における漁業資源の長期的な保存及び持続可能な利用の確保。

3. 対象水域

概ね北緯 20 度以北の北太平洋の公海（下記参照）



4. 対象資源

クサカリツボダイ、サンマ、アカイカ等
(マグロなど、他の条約の対象資源は対象外)

5. 主な内容

締約国を構成国とする北太平洋漁業委員会（N P F C）を設立。
委員会において、漁獲可能量、漁獲努力量などの保存管理措置を採択・実施。
なお、委員会の事務局は東京に設置される予定。

6. 発効

4 力国が締結して 1 8 0 日後に発効。(2015 年 7 月 19 日)

※日本、米国、韓国、ロシア、カナダ、中国、台湾が条約作成交渉に参加

※これまでに日本が 2013 年 7 月 16 日に、カナダが 2014 年 1 月 10 日に、ロシアが 2014 年 7 月 8 日に、中国が 2015 年 1 月 21 日に、及び韓国が 2015 年 6 月 17 日に受諾書等を寄託。

【参考】条約水域における各国の漁獲量（2008 年～2010 年の年平均）

(単位:トン)

	日本	韓国	ロシア	中国	台湾	米	加
クサカリツボダイ	7,672	1,489	0	0	0	0	0
サンマ	1,152	12,680	6,333	2,356	136,475	0	0
アカイカ	4,489	0	0	74,951	272	0	0
合計	13,313	14,169	6,333	77,307	136,747	0	0